

エコアクション21

# 環境経営レポート



株式会社音沢土建

2023年1月28日作成 版  
(2022年1月～2022年12月)

## 環境経営レポート

1.	環境経営方針	1
2.	登録事業所の概要	2
3.	環境経営システム組織図	3
4.	環境目標	5
5.	環境活動計画	6
6.	環境目標達成のための環境活動の取組実績	7
7.	環境活動の取組結果の評価	9
8.	環境関連法規制への違反及び訴訟の有無	10
9.	代表者の見直し	11

# 環境経営方針

## I. 基本理念

株式会社音沢土建は、建設工事の施工にあたり、地域社会への貢献を念頭におき、「自然環境の尊重」「安全快適な環境づくり」を目標に、地球環境への影響を考慮し、環境負荷の低減、環境改善に取組み、継続的に事業活動を行う。

## II. 行動指針

- ①事業活動に当って、地域環境に配慮し、環境保全活動を積極的に勤める。
  - a、各種自治体及び団体等の環境保全活動には積極的に参加協力する。
- ②建設業に関する環境関連法規と、その他要求された事項を遵守する。
- ③環境への影響を最小限とするために、次の環境活動を実施する。
  - a、使用エネルギー(電力、燃料、水等)の削減
  - b、廃棄物の削減及び分別処理・リサイクルの再生資源率100%を目指す
  - c、事務用品についてもグリーン商品の優先購入等環境に配慮した物を使用
  - d、現場作業での効率化を図り、環境負荷を削減し、顧客満足度の向上に努める
- ④全社員に対して、上記環境方針を周知徹底し、自然環境の保全に対する意識の向上をはかる。

平成20年10月20日 制定  
令和元年 8月 1日 改訂

株式会社 音沢土建

代表取締役 佐々木 博昭



## □登録事業所の概要

### (1)事業者名及び代表者名

株式会社音沢土建

代表取締役 佐々木博昭

### (2)所在地

本社: 富山県黒部市宇奈月町音沢584番地

### (3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部長

連絡先 TEL 0765-65-1828

FAX 0765-65-2019

### (4)事業内容

土木工事業

とび、土工工事業

建築工事業

ほ装工事業

管工事業

水道施設工事業

石工事業

### (5)事業の規模

従業員数 34名

延床面積 388m<sup>2</sup>

### (6)事業年度

3月～翌年2月

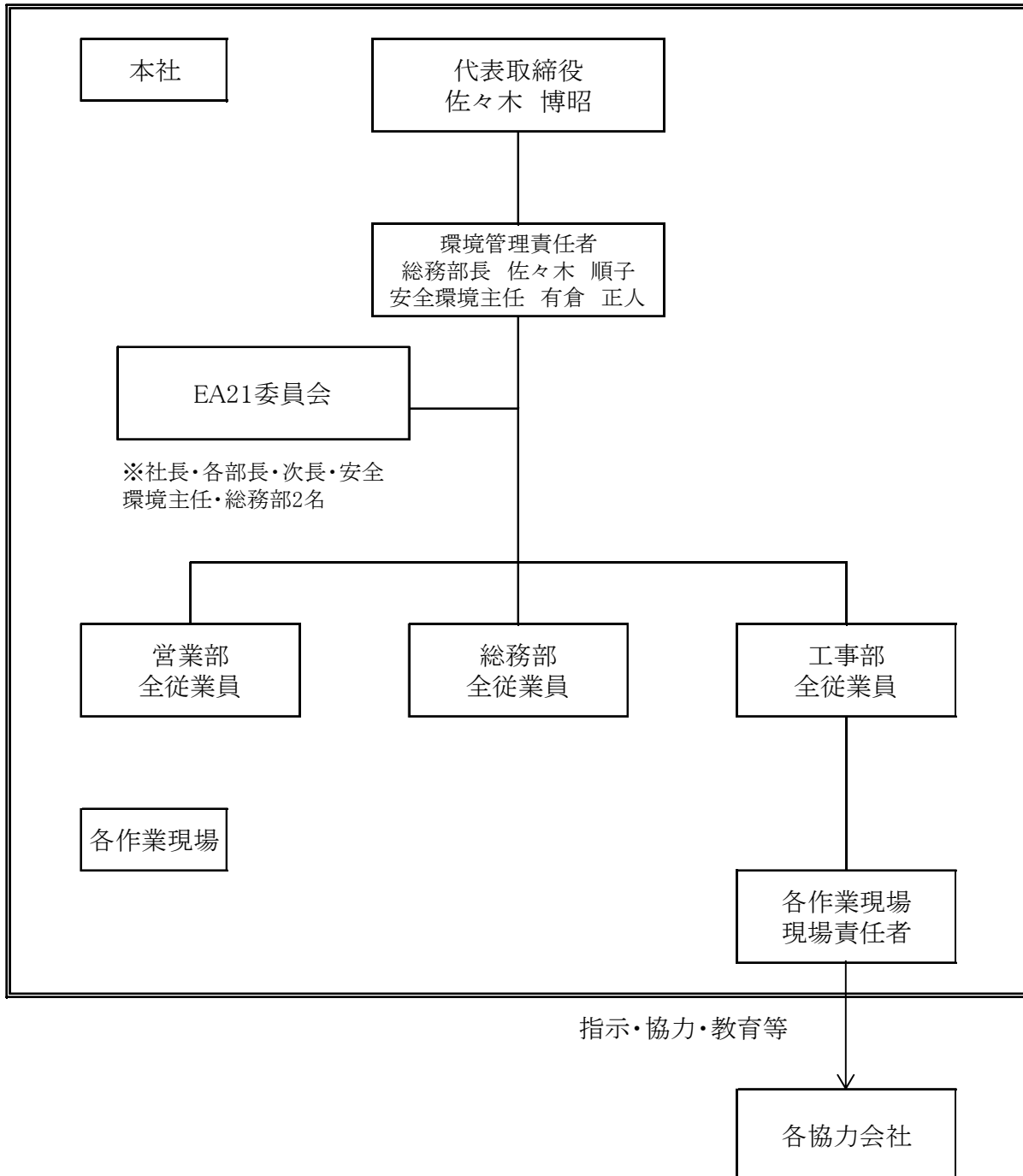
### (7)運用期間

2022年1月～2022年12月

# (株)音沢土建 環境経営システム組織図

令和元年12月23日

認証・登録の適用範囲  
住所・富山県黒部市宇奈月町音澤584  
活動・土木工事、とび土工、舗装工事  
建築工事、管工事、水道施設工事  
石工事業



・役割、責任及び権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境方針の策定、全従業員への周知徹底</li> <li>・環境への取組に対する必要な人員、設備等の資源準備</li> <li>・環境目標の承認</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> <li>・全体の評価と見直し</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境目標の確認</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> <li>・環境活動実施計画書を承認</li> <li>・必要に応じエコアクション21委員会の招集</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月に1回実施し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況の審議</li> <li>・社内状況、環境状態に大きな変化が生じた場合の対応審議</li> <li>・最新環境関連法規などの把握</li> <li>・環境目標、環境活動計画書及び実施記録原案の作成</li> <li>・各々チェックリストの作成</li> </ul>
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21文書、記録の作成、維持、管理</li> <li>・電力、水、ガス消費量、物質の投入量</li> <li>・一般廃棄物の排出量の管理</li> </ul>
工事部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の排出量の管理、車輛(重機)の燃料</li> </ul>
各部部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21での取決め事項の遵守かつ積極的に活動への参加</li> <li>・環境改善への意見提案や環境問題発生時の上司への報告</li> </ul>

## □環境目標

環境負荷の基準値目標は下記表のとおりである。

項目	単位	新基準値	目標値	目標値		
		2021年度	2022年度	2023年度 新基準値×%	2024年度 新基準値×%	2025年度 新基準値×%
購入電力	kWh	12,825	12,569	96%	94%	92%
				12,312	12,056	11,799
灯油	L	2,121	2,079	96%	94%	92%
				2,036	1,994	1,951
上水	m3	778	762	96%	94%	92%
				747	731	716
廃棄物量	Kg	57.2	56.1	96%	94%	92%
				54.9	53.8	52.6
事務用品の購入	%	89.0	90.8	104%	106%	108%
				92.6	94.3	96.1
ガソリン	L	21,641	21,208	96%	94%	92%
				20,775	20,343	19,910
軽油	L	182,734	179,079	96%	94%	92%
				175,425	171,770	168,115
産業廃棄物のリサイクル率	%	100	100	100%	100%	100%
				100	100	100
環境保全活動の参加	回	-	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     コロナにより次年度へ繰り越し                 </div> 7	前年度+1回	前年度+1回	前年度+1回
				7	8	9
工事評定点 (年間平均点)	点	76	76.5	前年度+0.5点	前年度+0.5点	前年度+0.5点
				77.0	77.5	78.0
二酸化炭素ガス	Kg-CO2	541,241	530,416	519,591	510,695	497,942

単位については、電気の排出係数の変動等が想定されるため、使用量による比較とした。

ガソリン・軽油についても分離し、使用量による管理とした。

尚、責任者は累計目標値が10%以上増の時は原因を究明し検討する。

二酸化炭素ガスは「購入電力」・「灯油」・「ガソリン」・「軽油」より算出する。

	購入電力	灯油	ガソリン	軽油
搬出係数	0.48	0.0679	0.0671	0.0687
単位発熱量	—	36.7	34.6	38.2

二酸化炭素ガス排出量＝消費量×排出係数(調整後排出係数)×単位発熱量

※化学物質は使用していません

□環境活動計画

環境目標の項目	個別項目	主要な環境活動計画
電力の削減	二酸化炭素排出量の削減 電力削減対策	①不用照明の消灯 ②空調設備の適正使用(適正温度 冷房28℃、暖房20℃) ③夜間、休日はパソコン・プリンター等の主電源を切る ④LED電球等の使用促進
暖房燃料の削減	暖房燃料削減対策	①適正温度(暖房20℃)の厳守 ②空室時の「切」の励行 ③ウォームビズ・クールビズ
上水道使用量の削減	排水量の削減 上水道使用量削減	①水道の流れっ放しの禁止(冬場の凍結防止も最小限に) ②洗車は短時間洗車に努め、バケツ等を利用して行う ③節水札の取付(明示)
一般廃棄物の排出削減	廃棄物排出量のリサイクル率 一般廃棄物削減対策 紙類削減対策	①コピー用紙の削減(確認のうえ印刷) ②使用済用紙の裏面利用 ③コピーの両面印刷 ④会議時の資料印刷削減 ⑤個人消費物は各自持ち帰り ⑥再利用品との分別実施の徹底
事務用品の購入	グリーン購入の推進 事務用品の購入対策	①再生紙用品の購入 ②グリーンマークの購入 ③詰め替え用品の利用
自動車燃料の削減	燃料削減対策	①アイドリングストップ ②日常点検の励行 ③エアコン(冷暖房)の適正使用
重機燃料の削減 (軽油)	燃料削減対策	①休止等のエンジン停止の徹底 ②日常点検の励行(異常発見時の早期対策・処置の実施) ③作業にあった回転速度の実施
工事評定点の向上	電子書類の対応 二酸化炭素排出量の削減 働き方改革への対応	①提出書類の電子化の推進・対応 ②低燃費・ハイブリッド重機の採用 ③週休2日制への対応
環境保全活動の参加	環境保全活動への参加	①地元の公園整備 ②堤防清掃活動 ③その他周辺で開催される環境保全活動

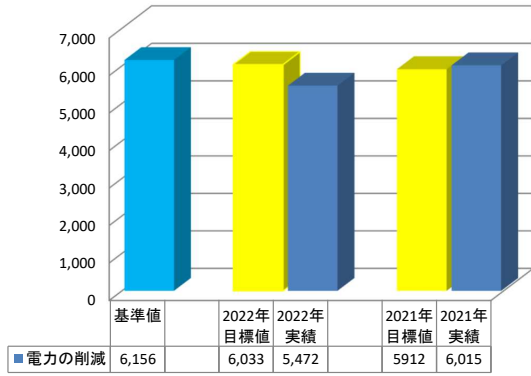


□環境目標達成のための環境活動の取組実績

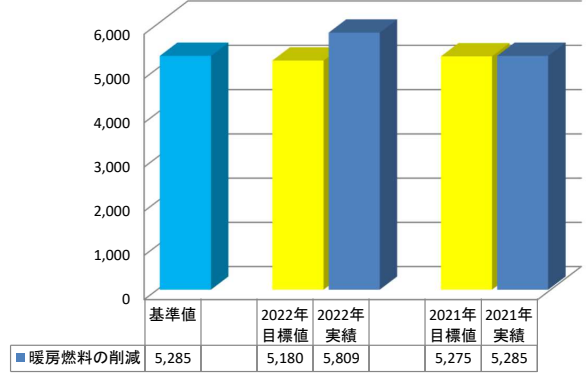
2022年度の目標とその実績

取組計画	単位	達成状況			
		基準値	目標	実績	達成率
		2021年度	2022年		
電力の削減	kWh	12,825	12,569	11,400	110.3%
	kg-CO <sup>2</sup>	6,156	6,033	5,472	110.3%
暖房燃料の削減	L	2,121	2,079	2,333	89.1%
	kg-CO <sup>2</sup>	5,285	5,180	5,809	89.2%
上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	778	762	1,023	74.5%
一般廃棄物の排出量削減	kg	57.2	56.1	60.2	93.2%
事務用品の購入	%	89.0	90.8	91.0	100.2%
自動車燃料の削減	L(ガソリン)	21,641	21,208	20,853	101.7%
	L(軽油)	182,734	179,079	175,375	102.1%
	kg-CO <sup>2</sup> (ガソリン)	50,243	49,238	48,387	101.8%
	kg-CO <sup>2</sup> (軽油)	479,556	469,965	459,482	102.3%
産業廃棄物のリサイクル率	%	100	100	100	100.0%
	kg	-	-	-	-
工事評定点の向上(年間平均点)	点	-	77	78.9	100.0%
環境保全活動の参加	回	2	7	-	-
二酸化炭素総排出量	<b>kg-CO<sub>2</sub></b>	<b>541,241</b>	<b>530,416</b>	<b>519,150</b>	<b>102%</b>

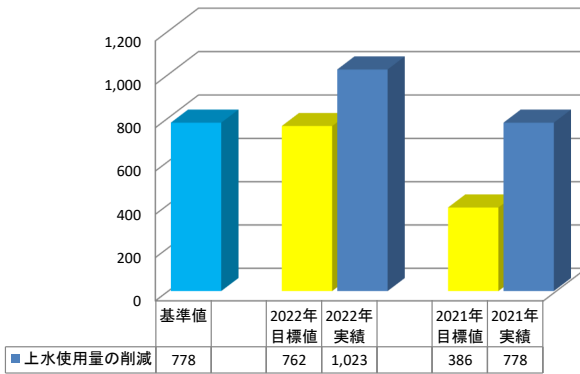
購入電力 (Kg-Co2)



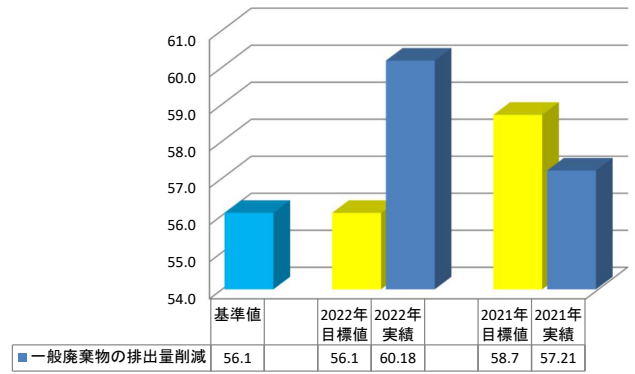
灯油 (Kg-Co2)



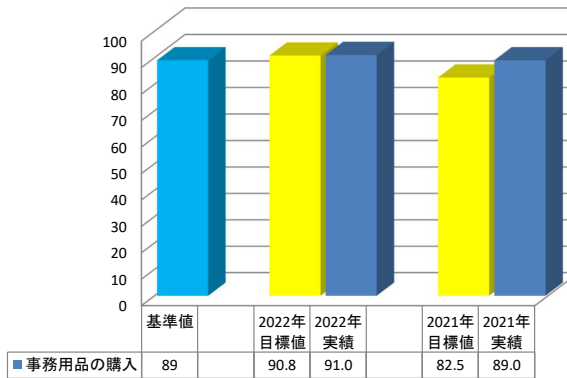
上水使用量 (m3)



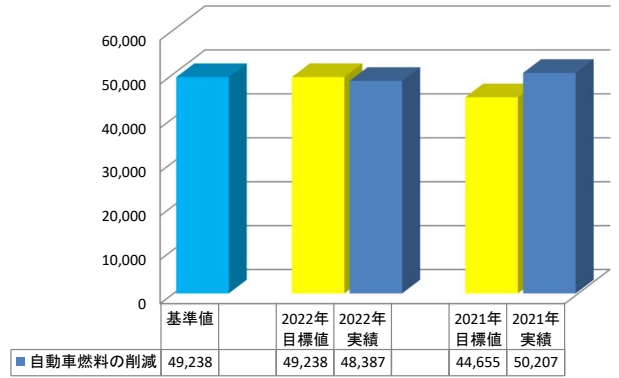
一般廃棄物の排出量 (kg)



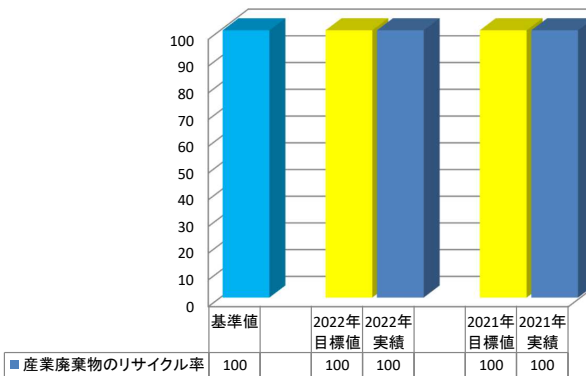
事務用品の購入 (%)



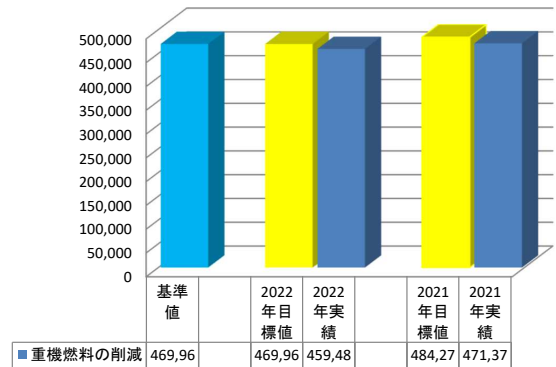
自動車燃料 (Kg-Co2)



産業廃棄物のリサイクル率 (%)



重機燃料の削減 (Kg-Co2)



## □環境活動の取組結果の評価

環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容は下記のとおりである。

取組計画	評価(結果と今後の方向)
電力の削減	1, 4, 7, 9月が月目標の達成が出来なかった。除雪や工事の状況により社内での電気使用が多くなったと思われる。ただ、年間を通してはしっかりと削減され、累計目標を達成できた。今後も削減対策をしっかりと行い、目標達成を目指していきたい。
暖房燃料の削減	1月は除雪作業が多く、目標達成できなかった。11, 12月は暖房を使用する日が多くなり、目標以上に使用している。また、年間累計では目標達成できていなかった。次年度ではしっかりと削減対策を行い、各月での目標達成を目指して努力していきたい。
上水使用量の削減	冬場の使用量が目標を超えていた。冬期の水道凍結防止で多く水を出しすぎたことが原因であると思われる。また、7月からも資料量が多く、目標達成が出来なかった。工事により道路清掃等が例年より多く、その際に水の使用量が多くなったためと思われる。さらにコロナ対策により、通常より多く・細かく清掃をし、使用量が多くなった。手洗い励行も原因のひとつと考えられる。節水意識をしっかりと持ち、目標達成を目指して頑張っていきたい。
一般廃棄物の排出量削減	1月、3月以外は目標を達成できた。年末・年度末の切り替えにより社内清掃により多くなった。削減意識をしっかりと持ち、対策をしっかりと行い、全部の月で目標達成を目指していきたい。
事務用品の購入	年間の前半は目標達成が出来ていない状態であったが、後半からは目標達成ができ、年間目標も達成することが出来た。出来ていない月でもしっかりと削減対策を実施している。削減対策を意識し、各月で目標を達成していきたい。
自動車燃料の削減	年間で月目標を達成できたのは3回だけであった。使用車両(リース車)が多くなり、また作業機械でも燃料使用量が多くなったためと思われる。削減対策はしっかりと実施し、次年度ではしっかりと目標達成を目指していきたい。
産業廃棄物のリサイクル率	契約及びマニフェストの発行が確実に実施されていた。E票の確認もしっかりと行っていた。また、リサイクルボックスの分別をしっかりと実施しており、今後も確実に継続していきたい。
重機燃料の削減	1~3月は例年より除雪作業の回数が減ったため、目標を達成できた。4月からは重機作業が多くなり、また11, 12月と雪の影響が少なかったため、重機作業が多く、目標達成が出来なかった。ただ、年間の目標は達成されている。今後も目標達成を意識し、削減対策を実施していきたい。
工事評定点の向上 (年間平均点)	年間平均点が78.9点となり、昨年より良い結果であった。今後も高得点が維持できるよう、目標達成を目指して頑張っていきたい。
環境保全活動の参加	今年度もコロナウィルスの影響により、環境保全活動の自粛及び自主規制によって、活動参加ができなかった。コロナによる影響がなくなり、環境保全活動ができるようになり次第、積極的に参加をしていきたい。

※今回の取組において、仕事の状況及びコロナ対策等により目標値を超えることがあった1年であった。目標を常に意識し、削減を考慮して今後も取り組んでいきたい。

## □環境関連法規制への違反及び訴訟の有無

### 違反、訴訟等について

環境関連法規への違反はありません。また、過去3年間関係機関等からの指摘および訴訟等についてもありません。

### 主な環境関連法規制の遵守状況

環境法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約書・マニフェストの交付、管理 交付状況報告の作成及び県知事への提出	○
リサイクル法	再資源利用計画書・実施書の作成 再資源利用促進計画書・実施書の作成	○
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明 工事着手7日前までに必要事項を県知事に届出 発注者へ書面により完了報告	該当なし
家電リサイクル法	特定家庭用機器の引き渡し、リサイクル費用の支払い	該当なし
フロン排出抑制法	建設機械のエアコン点検(3ヶ月に1回) 業務用エアコンの点検(3ヶ月に1回)	○
騒音規制法	作業敷地境界にて85デシベル以下	該当なし
振動規制法	作業敷地境界にて75デシベル以下	該当なし

代表者による全体の取組状況の評価と見直し

代表者



作成日 : 令和5年1月28日

	報告(環境管理責任者)	コメント・提案(環境管理責任者)	指示事項・変更の必要性(代表者)
取組状況の評価結果	<p>①環境関連法規等の順守状況 順守されている。</p> <p>②是正及び予防処置の状況 ・水道、自動車燃料、重機燃料の使用量が目標達成できなかった。コロナ対策により例年より清掃活動が多くなり、達成できなかった。</p>	<p>①環境関連法規等の順守状況 このまま継続します。</p> <p>②是正及び予防処置の状況 ・コロナ対策により清掃が多くなり使用率が上がってしまった。目標意識をしっかりと持ち、今後の目標達成を目指したい。</p>	<p>①環境関連法規等の順守状況 このまま継続をする。</p> <p>②是正及び予防処置の状況 ・コロナ対策をしっかりと行っている反面、水道使用が例年より多くなっている。目標達成を意識して今後頑張ってもらいたい。</p>
環境方針	社内掲示等により社員に周知し、方針に従って行動している。	このまま継続します。	このまま経過を見守る。
環境活動計画・目標	<p>①水道の使用率が目標達成できなかった。(年間目標)</p> <p>仕事状況にもよるが、目標を意識して達成できるように努力していきたい。</p> <p>②コロナの影響により環境保全活動への参加は自粛</p>	<p>①作業内容により、目標達成が出来ない項目もあった。やるべき削減対策をしっかりと行い目標達成を目指して努力していきたい。</p> <p>②コロナの影響により次年度に繰り越す。</p>	<p>①目標達成ができない項目があったが、削減努力はしているので、全項目の目標達成を目指しより一層の努力を行う。</p> <p>②コロナの影響により次年度に繰り越す。</p>
シソステ他ムノ環境各要素	活動意識はしっかりと持っている。実施をしっかりと目標達成を目指したい。	活動を継続をし、更なる努力を行い、全体のCO2削減に努めていきたい。	このまま経過を見守る。
周囲の変化状況	<p>①外部からの苦情等 なし</p> <p>②環境関連法規の動向他 なし</p>	<p>①外部からの苦情等 なし</p> <p>②環境関連法規の動向他 新しい情報があるか確認をし、常に最新版にしていきたい。</p>	常に目標達成の意識をもち、削減対策の活動を継続していく。
	体制の見直し		変更無し